

ご縁がすべて

順天堂大学 産婦人科 松澤奈々

今まで多くの人に支えられ、さまざまなご縁に導かれ、今の私があると思います。

私が産婦人科医になったのは、学生実習で産科をまわったときに出産に立会い、生命の誕生とその雰囲気感動したからです。産婦人科は緊急も多く大変ですが、産婦人科を選ばなかったら良かったと思ったことはありません。産婦人科医になって12年たちますが、今でも赤ちゃんが無事に産まれると嬉しいです。おめでとう、と退院の時に言えるのは産科の特権だと思います。最近知り合いの出産に立ち会うことも多く、人生で大事なイベントに関われることに幸せを感じています。

妊娠、出産の多くは幸せなものです、様々な困難に直面する場合があります。私は周産期の中でも胎児診断を専門にしており、問題をかかえた妊婦さんとその家族と共に、どうしたら良いかを考えて日々過ごしています。

産婦人科になって外からは見えないお腹の中の赤ちゃんを、超音波を使って診ることが出来るようになり、超音波に魅せられました。先輩に連れられて勉強会に参加したことがきっかけで、胎児診断に興味を持つようになりました。イギリスの Fetal Medicine Foundation への留学を申請し待っていましたが、なかなか順番が来ず、その間に参加した勉強会でクリフム出生前診断クリニック院長の夫律子先生にお声がけいただき、クリフムに国内留学させていただくことになりました。夫先生には胎児診断について多くのことを教えていただきました。超音波で形を詳しく評価し、原因を調べ、どのように対応することが出来るのか、ご家族と共に向き合っていく姿勢と、重大な決断に関わる責任を学びました。

胎児期にみつかる疾患の中には、事前にみつかることで出生後に最適な治療が受けられるように準備ができたり、少数ですが胎児期に治療ができるものもあります。しかし、脳の病気の多くは胎児期に診断されず、産まれてからも有効な治療法がないものがほとんどです。夫先生は多くの謎に包まれている胎児の脳の発達や病気の解明に力をいれており、そのご縁で今では私も胎児の脳に興味をもって取り組んでいます。最近少しずつ胎児脳の評価が出来るようになってきているので、将来、脳の病気も胎児期から診断・治療が出来るようになると良いな、というのが私の夢です。

今まで私に関わってくださった全ての方に感謝しつつ、これからも目の前の赤ちゃんのご家族に向き合っていきたいと思っています。

[著者略歴] **松澤 奈々**（まつざわ なな）

千葉県出身

2012 年 順天堂大学医学部医学科 卒業

2022 年 順天堂大学大学院医学研究科 卒業

順天堂大学浦安病院にて初期臨床研修、2014 年より順天堂大学産婦人科学講座に所属、
2020～2022 年クリフム出生前診断クリニックを経て、2022 年より順天堂医院産婦人科に
勤務

日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会 周産期専門医
（母体・胎児）、日本超音波医学会 超音波専門医、日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医、
日本胎児心臓病学会 胎児心エコー認証医

#産科 #ご縁 #国内留学 #胎児超音波

～DEI 推進委員会より～

ご縁に導かれたキャリアの軌跡

生命の誕生に触れた学生時代の経験をきっかけに産婦人科医となり、胎児診断という専門分野に出会いながら、多くの人との出会いやご縁に支えられて成長していく姿が描かれています。目の前の赤ちゃんとそのご家族に真摯に向き合う筆者の姿勢と、自らの専門性を築いてきた歩み、そして胎児の脳疾患も胎児期から診断・治療できるようになってほしいという強い思いが印象的です。

キャリアは一直線ではなく、思いがけないご縁や経験によって新たな道が開かれることもあります。本エッセイは、人との出会いやご縁が新たな学びや挑戦につながり、人生やキャリアを豊かにしていくことを改めて感じさせてくれます。

責任編集
DEI 推進委員会